

ねりま小中一貫教育レポート

〇●〇 第 16 号 〇●〇

平成 25 年 3 月

発行：教育企画課・教育指導課

練馬区内の小・中学校では、さまざまな小中一貫教育の取組が行われています。「ねりま小中一貫教育レポート」では、小中一貫教育の取組を随時報告します。

第 16 号では、小中一貫・連携教育研究グループの一つである「豊玉第二小学校」「豊玉東小学校」「豊玉第二中学校」の取組を紹介します。

【研究主題】 9年間の学びを連続して充実させる共同体としての小中連携の推進
～円滑な接続を目指して～

◆3校共通で指導方法の改善・授業規律の確立

豊玉第二中は、豊玉第二小・豊玉東小ともに、徒歩 10 分以上の距離があります。移動に時間がかかるため、子供たちや教員同士で頻繁に交流することは困難です。



そこで、昨年度は 3 回、今年度は 5 回、小・中学校の授業を参観するなど 3 校の教員全員が集まる機会を設ける（写真⑤）ほか、発表の仕方、話し合いの仕方、ノートの使い方などをそろえて、指導方法に系統性をもたせるようにしています。

また、授業の始めと終わりにあいさつするなどの授業規律を徹底し、年間を通してあいさつ運動を実施するなど、9年間一貫した生活指導で学習環境を整えています。

◆独自の小中一貫教育リーフレットを全家庭に配布

小中一貫教育の取組を積極的に進めていても、保護者の方からは先生方の研究の様子が分かりません。そこで、豊玉第二中グループでは、3校合同で独自にリーフレットを作成し、全家庭に配布しました。

リーフレットでは、豊玉第二中、豊玉第二小、豊玉東小の3校が9年間で目指す人間像にむけて、「カリキュラム



の接続」「教員間の相互理解」「児童・生徒の交流」で小中一貫教育を進めていることを紹介しています。

◆小中連携でいじめ撲滅

1月12日、豊玉第二小と豊玉東小の5・6年生の代表委員と豊玉第二中の生徒会役員とで、いじめ撲滅意見交換会が開かれました。



3校それぞれのいじめ撲滅宣言やいじめに対する取組を報告し、今後、どのようにいじめ防止に取り組んでいけるかなどを話し合いました（写真⑤）。

「あなたはどこからがいじめだと思いますか？」を問う意識調査「いじめレーダーチャート」に3校連携で取り組むことを決め、3校共通のいじめ撲滅宣言を作成して、今後の取組の具体案を話し合いました。

来年度も引き続き、3校合同でいじめ撲滅に取り組みます。

◆新築される豊玉第二中学校舎の小中連携教室

豊玉第二中学校では、4月から校舎の改築工事が始まります。約1年半をかけて新校舎を校庭南側に新築し、現在の校舎を解体して校庭整備が完了するまでに2年以上かかる予定です。改築工事中は、豊玉第二中の体育授業や部活動、運動会などに支障が出ないよう、豊玉第二小と豊玉東小が校庭利用などの面で協力します。

平成26年8月に完成する予定の新しい校舎には、「小中連携教室」として4教室分のスペースが整備される予定です。「小中連携教室」は、可動式パーティションで区切って4部屋の普通教室として利用するほか、パーティションを収納して小ホールとして活用することも可能です（イメージ⑥）。



また、豊玉第二小や豊玉東小の小学生4学級が、朝から放課後まで中学校で過ごすことができるよう、下駄箱や給食室も対応しています。

「小中連携教室」を活用した小中一貫教育の取組は、杉並区の高円寺中・杉並第四小などで先行事例がありますが、練馬区では初のプログラムとなります。異年齢集団活動や小中合同の学習発表会や学力補充教室、小・中学校教員の交換授業など、さまざまなアイデアが出されています。どんな取組が効果的なのか、「小中一貫教育プログラム委員会」を設置して検討を重ねています。